



# 八期オンライン日記第87号(7月号)



2024年7月1日~31日

谷川二郎 訃報

7月21日 17:26 届く

大石慶二様

先ほど電話した件。

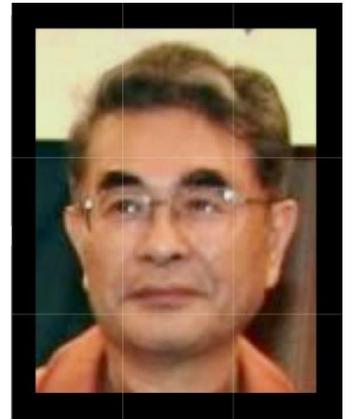
浜崎から問い合わせがあり、谷川がどうしているか知りたいとの問い合わせがあった。熊本県合志市御代志の谷川宅に電話したところ、奥方さまより以下の情報を得たのでお知らせする。彼は4月8日死亡。

10年にわたり心臓のペースメーカーにお世話になり、またパーキンソン病を患っていた。つえと歩行器のお世話になっていたが歩行困難であった。

介護4だった由。4月4日息が苦しいと入院し8日死去とのこと。

谷川二郎君は、まれにみる心にきれいな快男児であった。

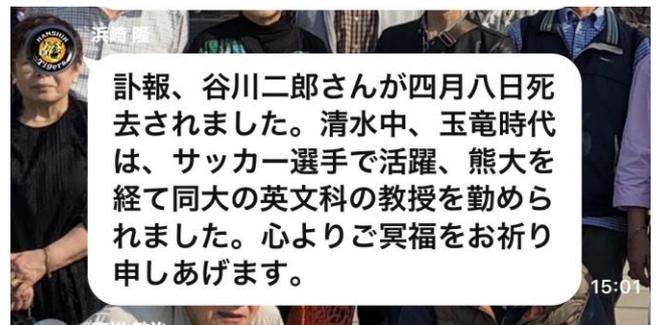
ほんのごてよか男であった。熊本の彼の自宅、熊大、田原坂などを案内してもらったことが懐かしく思い出される。 崎元雄厚



谷川二郎

崎元雄幸

花の木ファーム祝賀会  
2016(平成28)年5月14日



訃報、谷川二郎さんが四月八日死去されました。清水中、玉竜時代は、サッカー選手で活躍、熊大を経て同大の英文科の教授を勤められました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

上は八期 LINE に届いた浜崎隆さんからのお悔やみ

下は最後に彼にあった仲間たち。



花の木ファーム祝賀会

・2016.5.14 南大隅町根占

谷川二郎氏からは何度となく近況報告を受けていました。50周年記念の冊子にも3ページに渡り近況報告も含め文章を書いてもらいました。

恵まれない人の為に尽くした人生でした。記念誌を再現し、彼の素晴らしい人生を偲びたいと思います。

編集部 大石

# 私の賞味期限

谷川 二郎（1組）



寝る前には今日一日も無事に終わったと安堵し、翌日の朝、目が覚めて「まだ生きていた」と喜ぶ。最近はこのように気持ちで毎日を送っている。

昔は五十歳を超えると年寄りと思われた。今年（平成二十六年）で私は七十四歳になる。七十歳を超えると年を取ったという気持ちになるようだ。

私が住む町では、老人会員になる資格（？）は、七十三才である。老人の数が増えてきて、老人会が財政的に持たなくなるためか（？）会員になる年齢資格は高騰（？）してきている。

しかし、今年はこちらの意思には関係なく、自動的に老人会の仲間入りである。ああ私も老人扱いになってしまふのかと淋しい気持ちになり、私の人生の賞味期限が迫って来る思いに駆られる。

最近読んでいる本といえば、五木寛之著『生きるヒント』シリーズ、藤本義一著『人生の賞味期限』石原慎太郎、石原結實対談『生きる自信』江原啓介著『天国への手紙』大津秀一著『死ぬときに後悔すること』といったような、老後をどんなに有意義に過ごすかをそれぞれの人生経験に基づいて書かれた先達のメッセージである。こういった書物から「老いを生きる」ヒントをいろいろと教えられるが、よし！ こういった気持ちで生きてやるぞといった絶対的なものにはこれまで出会ったことは残念ながら無い。



それは自分自身で見つけ出さなければならぬのだと思う。だって、人はそれぞれ違ふし、人生もそれぞれ、男も女もイロイロだからである。でも何か基本的に同じものがあるような気はする。

私の賞味期限はいつだろう？ またどんな基準でもって賞味期限と考えたらいいのか？ と自問自答する。仮に私の賞味期限をこう定義してみたい。生きていることをうれしと感じることが無くなる時、ときめきを感じなくなる時を賞味期限と考えよう。

身体的には、自分で自分の身の回りの世話が出来なくなる時、精神的には、自分で考え判断したり決定したり出来なくなる時。人生を味わいながら生きれる期限。

ただ賞味期限が切れたからといって命が終わること、つまり「死」を意味しない。それは賞味期限のお話ではなく消費期限の話になってしまふ。実は怖いのは、賞味

期限が切れた後の状態である。

年を取ると子供に戻るとよく言われるが、若いころには覇気に満ち、人や社会にもそれなりに貢献をして来たと思われる存在が、人生の終点では、思考力や判断力を喪失した駄々っ子や拗ねっ子のような状態に終わってしまうのでは、何のための人生だったのかという疑問が起こり、時には怒りさえ覚える。

自分の人生に何か意味があると考えるのが間違いないのかも知れない。しかし私は何か意味があると思いたくなる。

賞味期限が切れた後では、人生を考える思考力や喜びの感覚などが失われてくるのではないかと恐れる。これでは終わりよければ凡て良しにはならない。この疑問に今はそして今後も私は答えられそうもないし、また誰かが適格に答えるのに出会ったためしもない。残念ながらこの怖い疑問には答えられない。

しかし、大事なことは、消費期限が切れるまでいかに人生を如何に「おいしく」生きていくかであり、食料品や物品に表記されている賞味期限が何日かの猶予が盛り込まれているように、賞味期限を少しでも長く先に延ばして行く工夫をすることである。

ということ、ここでは消費期限の話まで話題を延ばすのではなく賞味期限の切れるまでの話にしておきたい。

還暦の六十歳になった時、第一の人生が終わったと思ひ、これからは第二の人生と考えることにした。

第二の人生では、第一の人生ではやらなかったことをしたいと思った。これまで経験しなかった何か新しいことを！ しかし、新しく仕事を見つけるとか、何か起業するとか、大きな夢を抱くとかいったデカイことは、年齢的にも財政的にも無理な話である。年金生活でも出来ることでなければならぬ。それは生き方を要することである。

私の人生は、今思うと後悔と痛恨の想いの連続であった。あの時にはこうすれば良かった、もっとこうしておけば良かったという下衆の後知恵である。私の人生を車の運転に例えるなら、一旦停止すべきところで、チヨット立ち止まって考える余裕を持たず、スピード違反で猪突猛進して見たり、果ては一方通行のところを急がば回れと突っ込んで、反則切符を切られたり、時には出口のない路地に迷い込んだり等の失敗の連続である。（最近では、有難いことに反則切符を切られることがとても少なくなりました）

出来ることならもう一度人生をやり直したい思いである。そうしたらもっとまじな人生を送れるかと望む。それは出来ないことなので、出来ることは、自分に対する後悔の念の強さを和らげ、その時はそうせざるを得なかったのだと自分を許すこ



とにした。そうすると気分が少し楽になる。

次に今までになかった自分になろうと考えた。それは日常的な些細なことから自己改良を始めることである。最近のテレビでは、医療や健康に関する番組が増えてきて、自分の生活の中に取り入れてみたいと思うものが多々ある。

そこで「健康」を旗印に、体に良いことをやってみることにした。食生活の改善で、食物を噛む回数を増やすこと、起きてすぐ水やお湯を飲むこと、毎日の排便、適度な運動、十数年前から始めた気功と歩行、余りお金の掛らない健康サプリメントの摂取、十分な睡眠を取ることをやっている。



睡眠と排便で悩んでいる人が多いと聞く。私は眠薬を飲まずに眠れるので有難いが、排便の方は苦労している。便意を催して便器に座るとトイレ、何度か頑張っている。努力するもダメ。諦めて立ち上がってトイレを出ると今度は便意を催す。それを何度か繰り返す辛さ。クソ！自分の体になんでいうことを聞かないのだ！毎日排便する習慣を作るために苦労している。柑橘類を欠かさないと、朝必ずトイレに行くとか工夫している。

年を取ってくるとどうしても周りの人々よりも自分のことだけに気が向いてしまう意識狭窄が起る。

「生きていく」ためには、毎日色々な小さいことを持続的にやり続けていかねばならない。それが物理的に出来なくなると、あるいは精神的にやることを諦めてしまつと「死」が手やすねを引いて待っていると、自分に言い聞かせている。生きていくということは『何かをやる』ことである。人は何かをして生きている。『何かをする』ことがあることが私の賞味期限がまだ切れていないことだと思つた。

私は現在、仕事のようなボランティアのようなことをしている。低所得者やホームレスの人々の為に仕事と住居をお世話している、あるNPO法人に所属している。私の担当は、路上生活からアパートに移った後の一人暮らししている人々のお世話である。最近生活保護費の膨大化とその悪用が問題となっているが、生保の受給が「生きる」ための助けとなっている人々の数は多い。

非人間的な生活環境は、これらの人々の賞味期限を確実に縮めている。しかし受給者がこのまま増え続けるとこの国の財政は破綻してしまうという矛盾に出会う。私たちの存在や生活は多くの矛盾から成り立っている。そしてその矛盾を解決することは難しいことが多いし、生活保護費の問題もその一つと言えよう。

このNPO法人の下で、一人暮らしの世話をすることが、私の賞味期限を延ばすのに役立っている。一週間のうち土日と水曜日を除いて四日間、事務所に出ている。

私たちがお世話してアパートに入居した人々の数は、ここ数年で五百名位になる。私の仕事は、これらの人々を訪問し、安否を確認することです。

これらの人々の約九割は、かつては路上生活をしてきたホームレスの人々である。ホームレスとは帰る家のない人というより、親子兄弟や親族、友人、知人など、すべての人々との人間関係を喪失した人のことと私は言いたい。

シエイクスピアが言うように、舞台の上の役者のように人はこの世で色々な役を演じて生きている。私たちには会社員とか弁護士などの社会的意味での職業、父親や母親、夫や妻などという家庭の中で位置付けの人間関係があるが、ホームレスの人々は、こういったすべての人間関係の「絆」から排除された存在になっている。路上で人が亡くなると、人の目に留まりやすいが、アパート暮らしの人には、死後何日が経ってから発見される孤独死がある。誰にも看取られずに死んでいくのは悲しい。

一人暮らしをしている人々を訪問して気づいたことの一つは、何回か訪問して親しくなると、彼らが人と話をしたいという気持ちがある。

話の話題は特にあるわけではないが、人と話すことを喜んでくれる様子がある。従って、私の訪問の目的は、彼らの話を聞いてあげることになる。孤独は自ら求めた結果ではなく、周囲の人々から張り巡らされた壁の外の孤独という側面もある。しかし、自分のことを自分でやれず、自ら自分の消費期限を早めている人々に対する社会の目は厳しい。ここにも矛盾が存在する。

人の話を聞くのが私の仕事と言ったが、人と話し合う機会を与えて買っているのは、これらのひとり暮らしの人々ではなく、実は私の方かもしれない。そして一人暮らしの人々の生活を見て「自立」とは何が「生きる」とは何かを教えて買っているのは、私の方かもしれない。

楽しさという点で、私の賞味期限を引き延ばしてくれるものとして、囲碁と百円温泉がある。

囲碁は大学生時代に覚えたが、筋が悪くて中々上達しない。日曜の昼にあるNHK杯争奪戦の対局の面白さがやっとなら最近わかるようになった。休みの日には囲碁ばかりうってという家内の小言に怯まず、不動産をやっている善友と対局を楽しんでいる。

奥の深いゲームで、相手の性格や考え方で何えるところがあり面白い。私の善の腕前は、自称苦心惨憺ならぬ苦心三段です。



家から車で三十分以内に二十軒以上の温泉がある。五分以内に一番近い弁天温泉があり、二十五メートルの温泉プールやトレーニング・ルーム、そして郷土品や野

菜の販売所がある。もう少し行くと梶尾、菊南、七城、泗水などの多種多湯の温泉がある。さらに足を延ばすと、菊池、平山、山鹿、玉名などの有名な温泉がある。私の行きつきは百円温泉です。当初はコンクリート会社の従業員用温泉として始まったものが、一般の人にも新しく新築されて開放されたものと思われる。



熊本の温泉の入浴料金は大体四百円だが、三百円、二百円そして百円もある。私の行きつきの百円温泉は（残念ながら混浴ではないが）大小の浴槽が二つと五つの洗い場を持つ小さな温泉である。公衆浴場にある番台なるものはなく、出入り口に番をする人は誰おらず、円形の自動開閉機に百円を入れて入る。

私はこの温泉のお湯の温度が好きである。多分、私の感覚では三十八度前後のお湯で、真冬には中々温まらない嫌いがあるが、その他の季節では心地よい湯加減でゆったり出来る。

脱衣場から浴場に入る時に「こんにちは」とか「こんばんわ」と挨拶する人がよくある。私は気恥すかしさもあって挨拶しないのだから「こんにちは」と挨拶されたら「こんにちは」と挨拶を返す礼は忘れない。

普通の温泉や大衆浴場では交わされないこの手の挨拶は、どんな意味があるのだろうかと考え。最初は見知り合い同士の挨拶かと思ったが、どうもそうではなく、浴場に入る時に浴場に入っている人たち全員に呼び掛けられた挨拶だと分かった。

番台があれば、百円という安い入浴料に対する感謝の気持ちを、そこに座っている人に掛けられよう。その感謝の気持ちを代わりに入浴中の皆さんに掛けたと推測される。

この挨拶の習慣は、新築される前の従業員用温泉の時からのもので、その時は浴槽が一つだけで、そこに五人の人達が九十九折に向かい合って足をまげて入る大きだった。まさに家庭の風呂を少し大きくした程度のものでした。この小ささが家庭的な雰囲気を作り、他の大きな温泉には見られない挨拶の習慣を作ったのかもしれないと思う。

この温泉には、夫婦で来る人も多い。上がる際には、お互いに声を掛け合っている。「おい、あがつそ」と声「はい」と答えが返ってくる。女湯の方から「お父さん」と声があり、夫ならぬ別の人が「わかった」と答えて笑ったこともある。その人も夫婦で一緒にきたのであろう。

それにしても、長年連れ添いあってもまだ奥さんの声が「分らない愛」のか？ これも小さな温泉でなければ聞かれない夫婦のやりとりである。

五木寛之さんがこう書いています。「この憂愁に満ちた人生を励ましてくれるものは、日々のよろこびです」「一日一回よろこび」と提言しています。そして、

五木さんの喜びの内容は、大きな喜びだけではなく、実は他愛のないもの、例えば新幹線の窓から富士山が真正面によく見えたとか、買ったボールペンが実に書き心地がよいとか、安くてうまい鱈寿司の弁当の最後の一個にありつけたとかいったものです。

「喜びたい心の触手を大きくひろげて待ち構えている」と、色んな喜びが自ずからやってくる」と五木さんは説いている。

私たちの消費期限を少しでも延ばすためには、喜びという人生の甘味料は命の存続に欠かせないものです。

八期会のみなさんの消費期限が伸びれば、八期会自身の賞味期限が伸びることになります。皆さん頑張りましょう！



## 7月1日 先月号に対する返事編

八期オンライン日記第86号（6月号）お届けします 編集部



今日で6月も、終わりますね。

速いというコトバを使うのも飽きが来ました。

何もしないから、予定がないから、記憶に残らないから1日がはやく、ひと月もアツという間にすぎるんでしょうネ。

1泊2日の阪急ツアーなどでの体験ですが、その1日の行程の長さには驚かされます。

1泊目の夜、寝る前に思い出すと朝の行程が2、3日前だったような「なが〜い1日」だったのに驚かされます。

この写真、スマホの『八期会 LINE より』沖縄がテーマになって森くんから懐かしい1枚がアップされました。

確か70歳の古希記念で行った台湾旅行の2年ほどあと72歳の時でしたか？

72歳は60代の気持ちだった。

小森くん、大山くん、稲森くん、古里くんそして沖縄と言ったら木村美子さん！

その後も関西（木場さんお世話）中心に日本の歴史を学ぶ旅に続いていきます。

でも、この時の沖縄八重山諸島の旅は本当に楽しくもあり頭に浮かんできます。のんびり感もありました。

沖縄本島のあの若い見習いバスガイドどうしているだろう？ 沖縄を思い出すたびにすべてがなぜか鮮明なのです。

一緒に参加したみなさん！いかがですか？



この宴会！ 今話題の南西諸島（八重山語）今は、暗い雲に☁️覆われていますがあの頃は...真っ青な空（台風が側を通ったけど） この頃は皆の体内手足は何の病いも無かったのでは？

今や、足が痺れる（痛い）から頭の中まで何か気になるところの無い方が珍しくなっていました。

・・・後になりましたが、『八期オンライン日記第86号（6月号）送ります。

30日 17:17 西山

大石さん



長年にわたり毎月本当にありがとうございます。

この編集作業のために、一際、月日の訪れ、月末の訪れの速さを感じていることと思います。

月初めの1週間ぐらいは、一息つけるでしょうが、月の半ばを過ぎると、後はドスンと月末という感じではないでしょうか！

それを長年続けてこられたご苦労、本当にありがとうございます。

今日30日ということは意識していましたが、八期オンラインを受信して、ああ～、今月は今日で終わりだろ意識しました。

この通信をいつまでも元気で受け取れるようにしたいと思います。

皆さんもお元気にお過ごしください

西山 和宏

## 19:26 木場



八期会通信 6月号受け取りました。毎月の編集 御苦労様です。年をとると 一か月早く感じます。今月号も いろいろな思い出 本田さんについては 八期会客人 名誉会員？ いろいろなので そう長くは なかったですが 投稿は 凄いものでした。

八期会旅行 沖縄旅行に 触れておられますが 私も よい思い出となっています。

関西主催の 山陰旅行「足立美術館」の借景を取り入れて、部屋から 額縁で見るような 庭景色 素晴らしかったです。

USA の 庭園 機関紙の 20傑では 20年間 トップの座を保持しているとの BSテレビ で 先日 見ました。改めて、素晴らしい日本庭園を見せて頂きました。

たいへんご苦労な仕事ですが 来月 7月号も 期待しております。

有難うございました。

木場 祥雄

## 21:57 稲森政子さまより電話



政子様

ちょっと元気のないお声…でも笑顔が浮かびます。森くんから届きました。

懐かしい沖縄の見習いバスガール !!

思い出します。

7月1日

大石くん



編集と全国への発信、いつもありがとうございます。

昨日はコーラスの練習日だったのでお礼が遅くなってしまいました。

特に今回は拙ブログの「本〇どん」→「本田どん」への変更などこまめにさせていただいて恐縮しました。

ご存知のようにブログには本名などプライベートなことが全てわかってしまうようなことは書けないので 本田さんのブログ「中期高齢者である田舎人のタワゴト」で使っておられたペンネーム「本〇どん」を使った次第です。

いよいよ梅雨明けでしょうかね。

いつもは7月10日から20日くらいなのですが、今年は少し早まるようなことも聞きます。

この歳になると暑い夏を乗り切るのも一苦労ですが、がんばってみます。

隈元達雄

## 15:13 大石より返信



7月は予定表が賑やかです。

相変わらず「すぐ疲れます」指も両手痛くなりました。

昨年今頃は60代の元気でした。見た目は別にして。

また会いたいですね。飲めたらビヤガーデンでも行きたいけど。

そう言えば10日に南日本新聞社の永井(鹿屋)貴士氏と中村隆重宅にて飲み会します。隈元くんの知り合いでしたっけ？

17:44 大石より堀添さんへ

こんにちは！毎日雨がすごいですね。

かごしまはもうまもなく梅雨明けするかもしれませんが関東はもう少し先でしょうか？

『八期オンライン日記6月号』いかがでしょうか？

堀添さんのコメントをトップに入れさせていただきました。

まさか6月号が追悼に始まり、追悼(本田さん)で終わるとは思いもしませんでした。

これからもこんなかたちが続くのかもしれませんが。

堀添さんは『八期LINE会』『八期ロックンロール』『八期東京歴史グループ』などLINEを通して勝手なことを言い合っています。

適当に端折って最近『オンライン日記』に纏めています。

以前は創作や時事問題などの投書もあったのですが...

最近パソコンからのメール文がさっぱりです。

堀添さんの「取り置きのエッセイ(この頃思うこと)」みたいなありませんか？

今月の【巻頭文】...見たいに短くても長くても自由なので、投稿してもらえないかなあ！

考えてみてください。大石よりのお願いです。

## 18:19 隈元発



私が志布志の小学校のスクールコンサートでお世話になって記事にしてもらったのは永野幸一さんの息子さんです。

当時は志布志支局長でしたが、現在は他の部署に転勤になったようです。

私は7月はいつもの通りですが、先日発表された秋以降の楠声会のスケジュールが大変なことになっています。

10月20日 東京楠声会演奏会への出演

10月27日 世代と仲間をつなぐコンサート(宝山ホール)

11月10日 長島町文化祭出演

11月13日 霧島市高千穂小学校スクールコンサート

12月8日 「柳河」を柳川で歌う会(柳川の北原白秋ホール)

以上です。私は東京楠声会の演奏会は現在どうしようか迷っていますが、他はほぼ参加必須なのです。

もうそれぞれの練習も始まって忙しくなってきました。

ただ厄介なのは、最近朝起きようとしたときに何十年ぶりかの目まいが起きてビビりました。

その時は1時間くらい寝ていたら良くなりました。本当に気持ちの悪いものです。

その後は、できるだけ本も読まないように、スマホも根をつめて見ないように気をつけています。

年齢とコロナの後遺症からくるものなのでしょうね。用心 用心！

隈元達雄

## スマホの『7月は小川くんから始まるLINE……』

### 小川



どういう意味ですか？ところで、私4年の3学期に大龍小に長崎県島原半島の田舎から転校して来ました。

担任は中島先生、5年度は上原先生、6年度は山元先生でしたよ。八期会の皆さんで大龍小出身の方私に記憶がありますか、あまり目立っていなかったと思います。



### 下池



島原のどこな？博多では、島原大変肥後迷惑、と良く聞かすが、昔、雲仙岳地震で火山体が大崩落、その津波が対岸の肥後にモロ押し寄せ、15000人の犠牲者を出した故事らしいが、桜島が瞬時に大崩落したら、鹿児島市民は絶滅かもよ。ザマーな？僅かに吉野の人と武岡の人だけ生き延びて。坂元ん辺も大丈夫。

城ヶ谷は危っなか。火災流も来っ。息つが詰まっつよ。

小川



家族 5 人昔南高来郡山田村でしたが、現在雲仙市吾妻町になっています。

諫早湾干拓事業の開門、閉門で問題になっている所ですよ。

親父は雲仙の下方、お袋は海の近くでした。

親父は農家の次男で丁稚奉公から自分の店を持ち長崎市の蛇踊りで有名な諏訪神社の下で頑張っていました。先の戦争で  が来て、店をやめさせられてしまいその後除隊して、上海の領事館の警察官が合格したので、終戦直前に母と上海で生まれた弟と 3 人母の実家で父の帰って来るのを待っていました。

小川



すみません、乱筆で申し訳ありません。

8 月 9 日母の実家の縁側から桜島の噴火みたいに、煙が上がって子供心になんだろうと思っていました。

夕方になって長崎に大きな爆弾が落ちたと聞き、その時はまだ原爆とは誰も知るよしもないでした。

そして母は 1 月 27 日に生まれて半年ぐらいの弟をおんぶして原爆中心地に親戚の人達と一緒にお見舞いに行ったら、叔母と娘さんは跡形もなかったそうです。

叔父は三菱造船に勤めていたけど空襲警報で山に逃げたそうですが、自分の自宅が気になってその日に帰って死の灰を吸って一周間ぐらいで亡くなられたそうです。

私よりひとつしたの従兄弟は田舎に疎開していたので、天涯孤独になりましたが、素晴らしい叔父、叔母のおかげで、独り立ちできました。

母の一番下の叔父も師範学校で原爆にやられましたが、一命を取り留めました。そして中学校の先生、校長で頑張っ去年 6 月 28 日に帰らぬ人となりました。

大石



小川くんの『あの頃の話』なんとなく目に浮かぶようです。同じ時代を過ごしてきたからでしょうかね。(emoji)思い出すこと(思い出す)他にも聞かせてください。(思い出す)

大石



『八期オンライン日記6月号』みなさんのメールか LINE 他に送りました。届きましたか？ **北海道にいる吉田(末 富)節さんから sns(プラメ)で返事がありました。なんだか嬉しい気持ちです下**

永野和枝

吉田さんより末富さんとおよびしたほうがびんときますねー



お久かぶり？ 最近のラインで沖縄に旅行した時  一緒しましたよね あなたのことがおげんきかな？とおもい

つつ するとラインがありびっくり!! お元気でいらっしやるそうで安心しました。また機会があったらぜひおあいしたいで

すね。かごしまにおかえりなさつたら、会いましょう、連絡して下さいよろしくお願ひします 

大石



和枝さん！森くんから来た沖縄のバスガール(見習い生)何唄つた？

声をかけてくださってありがとうございます。元気でいますよ。八期だけでなく誰とも連絡していませんね、お恥ずかしい。ただ だらだと生きてます。八期通信は楽しみにゆっくり読ませていただいています。少しスマホに慣れなければと思っているところです。では また。

永野



おきなわ民謡だつたけどよく聴く？  口に出てこないです



下池



丁度この人そのものの、元沖縄バスガイドさんがウチの教室に来ちよったよ。

歌は現地仕込みの超上等。

お客に惚れられて博多に迎われ、若いのに乳飲み子始め4人の子連れ、生活費に追われて来がならんようになって、今、休会中。誰かスポンサーになって下さらんじゃろか？

下池



吉田さんて、確かこの人ね？

福岡大会の時、何回か後連絡のメールしたが、大山君と札幌組仲よし仲よし大仲良しのフ。(仲よし) で、フと思ったですが、人間二通りあって、内面は超完璧、頭の中は整理整頓だが、自分からは外に打って出ないタイプと、ビンタの中はテゲテケ、グチャグチャだが外に向かって自論をわめき散らかすタイプ。



どちらかと言えば、吉田さんは前のタイプとお見受け、本田どん始め八期LINEで騒動するのは、後のタイプ。

黙っている方々は前のタイプですか？ あなたはどっち？

大山参謀は前の感じだが、刺激すれば自論爆発の両刀遣いか？

永野



こんな偶然ありますか？私も覚えています。ばすのなかでおひとりではしやいでおられたがいどでした。博多にいらっしゃるのですか？下池さんどうぞ可愛がってください♪

私も福岡行きましたが ご存知なかったですねー♪

小川



ありがとうございます。大石さんひょっとして大石内蔵助さんの末裔ではないですか？実は大谷選手は親鸞聖人の末裔でないかと思っています。私のこじつけですかね。(笑)

下池

そんなことより、小川商店のハナシ聞きたーい。(moon laugh) オバサン達が値切ったでしょう？

小川



下池さん森永さんのお母様はお得意様でしたよ。昔栄町から柳町に変わりました上町市場と小川町の滑川市場で味噌、醤油が当たりまして、私が中学1年の時でした。

商売の手伝いをしていましたら勉強が疎かになり、立教大学を受けましたが、合格出来るはずがありません。

大石さん覚えていますか？立教大学で会いましたよね。

ところで3組の後藤さんが上町市場に住んでいましたよ。商売で店を大きくしようと思ったのが間違いでした。

またぼちぼちお知らせします。

下池



小川君、ウチのオッカンはいつの間にか滑川市場専門になったらしく、ズンモハンなあ。滑川市場がビルに入って何とん知れんこちなっ、晩年は山形屋地下。ドタ靴(靴)で毎日のバスが楽すんで。有馬敦姫さあの東京婦人オ

ッカンなハイヒール  をはいて、やっばいバスで。吉野婦人はどげな靴な？

永野



わたしのかあちやんは下駄でした^o^ その頃の流行でしたよね  貴方はさつげたじやなかつたの(?)

^o^私は修学旅行にズックをはいていきましたら東京のおじちやんか銀座で  革靴を買ってきて履き替えて東京を歩きました。高校を卒業後はその革靴で はたらきにいきめした。思い出です

下池



こんた何処け？ 昔の高校生はオセらしかなあ。オトロしかごたつたど。

アタヤ東京 1 年目は下駄。妙なカッコい見えたたーろ、雑踏の渋谷駅で、お隣さんの赤路キミエどんが、アタユ見しけ出たど。あのっさあはまだ生きच्छよいやっどかい？

ここに5V(像の前)写真を

西山



多分、皇居前の楠正成の銅像前だと思います。中途半端な写真です。

銅像を入れるなら入れるでしっかり入れる。入れないのであれば、美女だけ枠内に収めるようにしたらいいです。でも横を向いて顔を見せない人もいて変な感じです。



おそらくこれはベストな写真でしょうから。

そらくこれはベストな写真でしょうから。



3 日初加入 **荒木藍子** です！ 9 日アップ 八期会 LINE  より



今日は！ 御無沙汰してます 五組の小川(現 荒木)です よろしくお願ひします

下池



小川さんが二人になってアタマがまくじりますがよ

和枝



小川さんはじめまして 同じハ期のなかまですが？ 本当にはじめてですね？ 私は永野和枝です 長田中出身3年7組 森山和枝 今後ともよろしくお願ひします 🙏

大石



大石です(うんうん) どなたか？ 藍ちゃん(愛称)を紹介して(長田の和枝さんに)あげてください。 隆会長からいかがですか？

藍子



永野さん ありがとうございます よろしくお願ひします

南郷



藍ちゃんは太郎の嫁になる昔良く聞いていた 記憶(が)ありますが、その藍ちゃんですよね(?)

永野



思い出しましたー 藍ちゃん 清水中出身の藍ちゃん よく藍ちゃんのお話お聞きしていた 会長の浜崎さん宴会で少しほろ酔いかげんになつてくと清水中出身の藍ちゃんともう一人の清水中出身のお二人さんのお話してました♪

懐かしい 大石さんヒント有難う あとは浜崎会長に 藍ちゃん人気者ですね

私も下池さんも藍ちゃんも実物みていません 博多に出かけていきます この時お二人の実物大みたいですよしくお願ひします🍷

濱崎



小川藍子さんを知らない人がいるなんて、きっと認知症のふりしているのではと、つい、意地悪に思ってしまった。男性諸君で知らない人は、玉竜ではモグリと、非難されることでしょう。明眸皓齒、新体操の最高位置に名を連ねた彼女は、思春期の男性の胸をかきむしった、悩ましきひとでした。コマネチなんて、藍ちゃんの次です。あんな素敵な人をチャン呼び出きるなんて、無礼をお許してください。

酔って、益々評価の上がる藍ちゃんです。

森



当時の藍ちゃんの写真を見たい

想像して見た。

下池



お二人の紹介なんてとてもとてもですが、ささやかなアドバイスとしては、ご両人の誇らしい一番いい時のお写真、いかがでしょうか？

アイちゃん後援会長お褒めのお言葉、なお不足で舌足らず(舌)、もっともっと、ありませんか？ 今宵の出来具合次第？(酔っ払い)

アタシたち見せ物んじゃないから、そげんとが押しかけてきたら、アイちゃん、逃ぐつがな。

小川



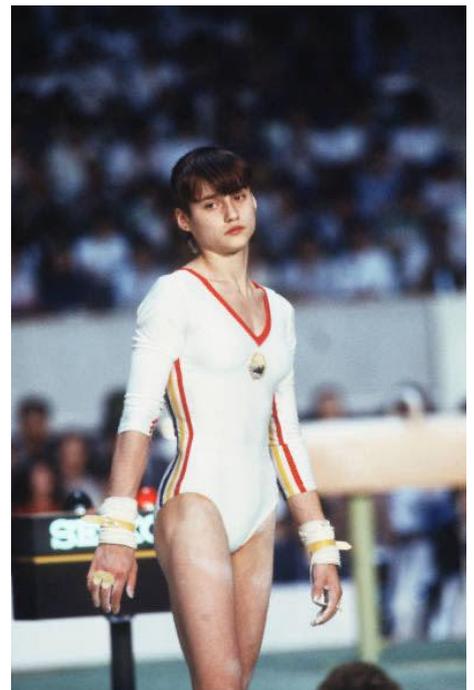
藍さん八期会入会ありがとうございます。小川登です。私は藍子さんが入会されるのを楽しみに、待っていました。私のルーツは長崎県島原半島の田舎町です。

藍子さんのルーツは鹿児島県ですか？教えてください。よろしくお願ひします。

小川



藍子さんおはようございます。私 無理なお願い申し訳ありません。私のお願いキャンセルしますので、よろしくお願ひします。貴女のひと言を八期会の皆さんが待っていると思いますのでよろしくお願ひします。(よろしく)



## 藍子アンサー



小川さんごめんなさい 荒木です 気遣させてしまいましたね😊

私しっかり覚えてますよ～清水ですもんね ただこのライングループのシステムがわからなくて オタオタしてます 私はハルビン生まれですが父は志布志です母も近くなのではないかな 親戚との交流はないし小学校から鹿児島です 懐かしい！ 桜島の写真素敵です

## 小川



藍子さん、ラインありがとう。私は長田中に一年、清水中に2年から転校しました。

シモノカド先生でした。三年は大園先生でしたよ。

玉龍では長田中の同級生と一緒にになり本当に楽しい中、高校でした。また時々ラインしますのでよろしく(よろし

く)

## 小川さらに



下池サン小川商店は昭和40年代親父の考えで、3分割しましたよ。

長く働いてくれた私より3個上の従兄弟に一番売上高の高い滑川市場を譲り、私は坂元町の店を開店してどうか頑張ってきたけど、店だけでは収入が少ないので昼過ぎまでJAのAコープに惣菜や弁当の配達をして昼からは自分の店の配達をして森永さんや木場祥雄さんの自宅に届けていましたよ。

下池サンのお母様とはお会いした記憶がないでしたが、滑川市場にお買い物に来てくださっていましたかな？滑川市場は従兄弟に譲っていたので、お母様とはお会いできなかったかなと思います。

## 西山



滑川市場は、私の家から徒歩数分でした。5円低下のものは3円80銭でした。なんでも卸値で買えました。

ほんとにあそこは大繁盛でしたね。

田舎の行商の人たちが仕入れに使っていました。

あそこら辺から易居町へ向かった通りが商店街で賑わっていました。

その面影はとっくの昔に消えてしまいました。

## 下池



家を出て県外にいた時、オツカンが小川商店からマルタイ棒ラーメンを送ってきいやって、九州豚骨味が懐かしかったなあ。

それを下宿のオバサンに食わしたらヒッタマガッテ、わがで小川商店から取り寄せて、ウンマカ、ウンマカち、そいから待遇が改善されて、良かめにおうたとお。

今だに小川商店に感謝感謝。一生き忘れん。



## 八期会 LINE より』



## 濱崎

あたしの姪です。14日の南日本新聞の9ページです。よろしくお願ひします。(よろしく)



永野大好きなキンセイ饅頭 買いにいきます。

下池



ほんのこて一、血筋じゃなあ。どっちがどっちか分らんごつ、ゆ一似いちよいやっ。金生饅頭も油をゴイと使こつ、炒むつとな？

永野



、下池さん 上の苗木がサネンバナです有難う  
別名幻の月桃の花です  
我が家にお嫁さんにきました。感激しています

上山



月桃 て今ごろ咲く花ですか、沖縄民謡に歌われているサネンバナが月桃のことだと初めて知りました。こちらでは見かけません。

永野



月桃のなはやつと永野宅にお嫁にきました。

月桃...奄美大島ではサネンバナと言っているらしいよ

鹿児島は 奄美大島の方がおおいのでサネンバナを庭に植えていました♪私の友人 谷口さんがお隣から月桃の花咲いたからといつてもらったことからはなしが急展開した...鹿児島が花が咲く北限かも

永野

下池さんからはじまつたお話でしたへい我が家におはながとときましたー



今度は私が下池さんが腰がねけるぐらい 綺麗な月桃の花咲かせます。吉野に

永野

佑子ちゃん、もう一つ一つのしみがありません♪  
奄美大島の方が大事にしていること さねんの葉っぱは お団子を作ると香りがいいみたい そのうちだんごおくります 🌸🌿

祐子



ありがとうございます下池ます。お花はきれいな上に、葉っぱまで香りの良いお団子作りに使えるとは、貴重なお花です

すね！ 和枝ちゃん、見事に咲かせた月桃を、ぜひ見せてくださいね

下池



本日は歴史家の先生方に村度して「西郷さんはキリスト教徒」なる寄稿文を披露します。  
これは本田どんも在籍した鹿児島県人宿舎同学舎の会誌から抜粋。  
もしや、本田どんもヤソ教信者だったか？



紙園祭ゆかりの「左三つ巴」紋の焼き印が押された金生まんじゅう 鹿児島市の山形屋

夏のおぎおんさま焼き印でPR

鹿児島の夏の風物詩おぎおんさま(紙園祭) 21日(土) 20日(日) 西祭、21日本祭を盛り上げる内村商店の内村由紀(58)は、「おぎおんさまは鹿児島市金生町の山形屋に、祭りのシンボルマークの「左三つ巴」を元気にするルマックの「左三つ巴」紋を焼き印した金生まんじゅうが来た」と話

山形屋、21日まで限定販売

ゆうがお見えした。本祭 通常の販売している山形屋の店舗にちなんだ「丸岩」マークよりも焼き印の面積が大きく、香ばしく感じるという。6個入り600円、保存パック10個入り1200円。



## 書友からの便り

### 西郷さんとキリスト教

飯田昌之(S30入舎)

郷イト夫人の親族の方に電話での問い合わせができた。

真形久視舎友(S31入舎)のメール情報で西村雅男舎友(S31入舎)から「西郷(隆盛)さんはキリスト教の洗礼を受けた?」との問題提起があった。私は宗教には全くの門外漢だが西郷さんには関心があるので、「私が調べよう」と引き受けた。

早速、「大西郷の悟りの道」敬天愛人とキリスト教/坂本陽明(以下「大西郷」)など聖書関係図書4冊を取り寄せた。「西郷さんは明治5年に横浜の教会で洗礼を受けた」(別資料で「横浜海岸教会」、洗礼の記録は関東大震災で全焼)と米国人宣教師「フルベッキ伝」に掲載されているという、高柳毅西郷南洲顕彰館第3代館長の発言を見つけた。そこで岡野照久舎友(S40入舎)に相談。早速、岡野さんが人脈を駆使して鹿兒島在住の西

それによると「第3代館長の主張は鹿兒島で大きな論争(別資料ではTV討論もあった)を巻き起こしたのち高柳氏は退任した。現在の館長は西郷さんの洗礼はなかったとの立場である。」とのことであった。

西郷さんがキリスト教に強い関心を持っていたことは間違いない。西郷さんが薩摩藩士有馬藤太に、「日本も王政復古の世になり、西洋諸国とも交際せねばならぬ。西洋では耶穌を国教として、一にも天帝、二にも天帝という有様じゃ。西洋と交際するには、耶穌のことを研究せねばならぬ。この本はその經典じゃ。と二冊(新約・旧約聖書)の漢文の書物(別資料で「香港英華書院刊)を貸してくれ」と有馬の「私の明治維新/聞き書き」に書かれている。

今回、西郷関係者の一次資料(手

紙等)だけで書き上げた伝記、海外資料を含む膨大な文献による伝記等、駆け足での拾い読みで多くの関係図書を読み、西郷さんの奥の深さに心打られた。

一例を挙げると西郷さんには写真がないことがある。その根拠や理由が凄い。

斉彬公が急逝し西郷さんが殉死を決意した時、斉彬公と縁の深い月照が「王政復古の達成が斉彬公の遺志だ。生きて達成すべし。」と必死で諫めた。安政の大獄で月照の命が狙われ、安政5年秋、西郷さんは月照と共に錦江湾に身を投じた。月照は死に西郷さんは蘇生した。その心境を西郷さんは肥後の長岡監物に「私事、土中の死骨にて、恥ずかしき生を忍びおり候」と書き送っている。

西郷さんはその後遠島になる。復帰してからは第一次長州征伐解決、薩長同盟、鳥羽伏見の戦い、戊辰戦争、江戸城無血開城、庄内藩に寛大な措置と、明治維新を強力に進めていった。

そして迎えた月照13回忌に西郷さんは、「共に誓って錦江湾に身

を投じながら幽冥を隔てて空しく月照様の墓前に哭す」(月照和尚13回忌に賦す)を捧げている。陽明学徒であり知行合一の士である西郷さんは一度「土中の死骨」と認識したからには、生涯その認識を持ち続けた。一度墓に入った人間が、のこのこと娑婆に出てきて「恥ずかしき生」を写真として残すなどということはあり得ない。「知行合一」写真がない理由である。「大西郷」の序文/高柳毅氏)。

キリスト者・内村鑑三は「敬天愛人」が西郷さんの人生観を要約しており、この言葉にはキリスト教で言う律法と預言者の思想(西村氏注)が込められているという。内村鑑三は西郷さんの「天は人も我も同一に愛したもう故、我を愛する心を以って人を愛するなり」(南洲翁遺訓)の言葉に強く感動している。

西郷さんは、洗礼は受けていなかったが、内村鑑三のように西郷さんの「天」が、キリスト教の「創造主なる神」に通じるものだと、深く感ずる人は多い。



木場より西山さんへ



前垂水中国大使 のエール回顧録 読みました。  
いつも メールしていただき ありがとうございます。

コピーを取り、読みました。私どもの時代は 紙にコピーし 見る習慣があり、 毎回 コピー取り 読んでいます。

今は ペーパーレスの時代に 逆行しているかもしれませんが・・・？ さて、回顧録について 滞在 20 余年 一筋に チャイナスクール出身者として 退職されるまで 中国を担当されたという方でいろいろな 要人の名前が書かれています。

私自身 中国 江蘇省南通市に 出向した関係で 中国関連のニュースは 勤めて見るようにしております。  
今回、文芸春秋 8月号 回顧録は 特に 最後の 「習近平と共に去りぬ」のページが 印象に残りました。

習近平も 解放軍との関係 ロケット部隊 はじめ 軍部の粛清が行われ、自分自ら 指名して人たちも 粛清されているようです。

中国解放軍の昇格するには そで下を上司に渡すことが 公然の事実であり、兵器購入等は 当然 賄賂の世界 と聞いてあります。

軍部に信頼のおける部下が 少なくなってきてあり、奥様、その有名な歌手を 軍の要人にして、情報を得ようと、信頼できる 下が いなくなり、奥様からの情報に頼ろうとしているとかの話も聞かれます。

といった状況故、今後の中国 習近平体制は いつまで 続くのでしょうか・・・気になります。

## 鄧小平のオーラと江沢民の炭坑節



短期集中連載 第 7 回 垂 秀夫 前駐中国大使・立命館大学教授 2024/07/09 一筋縄ではい  
かない最高指導者たちの素顔（聞き手 城山英巳・北海道大学大学院教授）・・・・・・・・

「一生に一度しかない中国での信任状捧呈式で、こんな扱いをされるのはとても残念」2021 年  
4 月 14 日夕 刻、習近平国家主席への謁見のための列で、私の前に並んでい た欧州某国の大使  
は不満を露わにしました。

北 京の人民大会堂で行われた、信任状捧 呈式のときです。

新型コロナウイルスの影響で大幅に延期され、私は着任から 5 カ月後 でしたが、中には 1 年以上待たされた  
大使もいました。しかも、一対一ではなく 29 カ国を 一堂に集めての開催。私も、各国を代表する大使への扱  
いとしては、失礼ではないかと 感じたものです。

習氏は明らかにコロナの感染を恐れている様子でした。

大きなホールに立った 習氏は、 マスクをぴっちり着用して表情は窺えず、相当の距離を取って一人ひとりの  
大使とわず かの言葉を 交わすだけでした。

1987 年 6 月、倉成正外相や宮澤喜一蔵相ら 7 人の 閣僚が日中定期閣僚会議のために訪中し、最高指導 者の  
鄧小平（当時は党中央顧問委員会主任）と会談しました。

私は外務省に入省していましたが、まだ南京大学の留学生でしたから、会場となった人 民大会堂の外で連絡役  
として待機していました。

しばらくすると、ドアがパッと開いて鄧小 3 2 4 0 7 0 9 鄧小平のオーラと江沢民 の炭坑節.docx 平が姿を  
見せました。 150 センチ台と小柄なのに、後光が差したように神々しく、「うわッ ……」と思わず後ずさりす  
るくらい物凄い オーラを感じたものです。・・・・・・・・

## 78 年から改革開放路線を進めた鄧小平は

80 年代から 90 年代にかけて絶大な権力 を持っていました。

ところが、“ミニ毛沢東”として、自らに権力を集中させることはしなかつ た。

82 年には党主席制を廃止し、集 団指導体制を構築。後継者がたとえ凡庸でも、10 億 人超の人民を統治できる  
システムを作り上げた。

まさに中 国共産党の中興の祖です。「月が～、出た、出た～♪」 鄧小平の後を継いだ江沢民国家主席とは何  
度か面会す る機会がありました。

実際に会 うと、とても陽気で「ユニークなおじさん」という印象です。

相当の語学力の持ち主でもあ り、英語 やロシア語、ルーマニア語に加えて日本語も少し話しました。

私がまだ一等書記官だった頃、江沢民が日本の 国会議員と人民大会堂で面会した時 は、「炭坑節」を披露して  
くれました。

和やかに談笑していると、突然、「私 は日本語も少し できます」と言って、「月が～、出た、出た～♪」と歌い  
出したのです。

人民大会堂に響く 国家主席の“独唱”を聞きみんな呆然としていました（笑）。

そんな素顔とは裏腹に、日本では極めて反日的な指導者と見られてきました。それは 98 年の訪日の際に歴史問  
題を何度も取り上げたことと、その時の宮中晩餐会で黒い人 民服を着たことが根拠とされています。

しかし前者は訪日の際に発出した日中共同宣言 4 2 4 0 7 0 9 鄧小平のオーラと江沢民の炭坑節.docx において日本側から歴史問題についての謝罪を書き込むことを拒否されたことが原因で、後者は民族衣装として着ていただけでした。

そもそも歴史問題を重視したのは、天安門事件後、共産党への信頼が大きく揺らぐ中、愛国主義的な姿勢で求心力を高めるために、結果として抗日戦争を利用する必要があったからです。

江沢民が根っからの反日だったとすれば、側近中の側近である曾慶紅党中央弁公庁主任(後に国家副主席)が、あれだけ日本を大事にしたことの説明がつきません。

信義に厚い曾慶紅曾氏とは若い頃に交流する機会がありましたが、きっかけは98年5月、野中広務自民党幹事長代理の訪中です。私は大使館の一等書記官として2人の会談を担当しました。

思い出深いのは、09年の河野洋平前衆院議長の訪中です。

この年は、共産党の幹部養成学校である中央党校と日本の官民の中堅幹部が相互訪問する交流事業開始から10年。中国課長だった私は、事業を始めた時の外相だった河野さんに「河野さんが団長になっていただけますか。

曾氏との面会を提案したいと思います」と相談しました。

曾氏は既に引退しており、中国では引退した要人が外国賓客と会談することは極めて珍しい。ダメ元で、当時懇意にしていた党中央組織部に依頼すると、意外にもOKの回答が来ました。曾氏とも懇意であった阿南惟茂前中国大使も同席し、釣魚台国賓館で最も格式の高いレストラン「養源齋」で会食。

曾氏は私を見るなり、「覚えているぞ」と声をかけてくれました。

打ち解けた雰囲気だったので、02年4月、党中央組織部長だった曾氏が大分を訪問したことについて聞いてみました。

小泉純一郎総理の靖国神社参拝が問題視されていた時期だったのに、「なぜ訪日できたのですか？」と尋ねると、曾氏は破顔一笑。傍らにいた武大偉外交部副部長や沈躍躍党中央組織部常務副部長ら幹部を見まわすと、冗談交じりに「彼らはみんな反対したんだ」と笑って、こう続けました。

「野中広務氏と平松守彦大分県知事という友人が待っていたので、行かなければならぬと思ったんだ」事前に江沢民に加え、外交を統括していた銭其琛國務院副総理の了解を得ていたことも明かし、「なぜ行けないことがあるのか」と語りました。

私はその場で、阿南さんらと相談して、引退した曾氏に再度訪日してもらうことを提案。

「日中友好七団体が共同招待する形でどうでしょうか」とお願いすると、武氏の方を見ながら、曾氏はまたも冗談めかして、「彼が許せば行けるんだ」と。

河野さんや阿南さんは「話を進めますよ」と前のめりでしたが、その後、尖閣諸島沖での漁船衝突事件が起き、それどころではなくなりました。

不評だった唐家璇の「授業」曾氏の側近で、上海副市長を務めた趙啓正氏はとても開明的で、彼もまた、対日関係を重視する党幹部でした。

先述の通り、98年に国家主席として訪日した江沢民は、再三、歴史問題に言及しました。日本国内では反発の声が広がり、日本側から見れば、江沢民の訪日は到底、「成功」と言えるものではありませんでした。

しかしながら、江沢民の 機嫌を損ねることを恐れたのか、外交部は実情を党中央にきちんと報告している気配は ありませんでした。

当時、閣僚級の国務院新聞弁公室主任として対外広報を統括していた趙氏は、翌年 1 月 に来日。数えきれないほど多くの日本人に会い、江沢民訪日に対する日本側の深刻 な反応を直接知り、愕然と すると共に、曾氏にありのままを報告しました。

正確な情報を 元に、関係改善に繋げようと考えていたのです。99 年 1 月に私が香 港総領事館に赴任してからも、出張で北京 を訪れると、日本大使 館を通じず、秘かに趙 氏と面会することもありました。

閣僚級が若手外交官とサシで会う ことなど、今では考えられません。 当時は日中関係が厳しく、日本ではチャイナスクール 7 2 4 0 7 0 9 鄧小平のオーラと江沢民の炭坑節.docx への批判が激しくなっていました。「御友人の宮本雄二公使をはじめ、みんな大変な目に 遭っていることをご存 知ですか」と聞くと、趙氏は「本当に不幸なことだ。

よく知っている人 ばかりだから胸が痛い」と深く同情し てくれました。 逆に、日本問題の専門家は日中関係の改善に大きな役割を果たしたとは思いません。

例えば、98 年 3 月から外交部長、03 年からは国務委員（副総理級）を務めた唐家璇氏 です。

外交部長に就任する前、唐氏は外交部で中国の貧困地域を支援する任務を担 当。当時、唐氏は劉華秋党中央外事弁公室主任と外交部長のポストを争っていました。

日本の外務省も唐氏を応援する形で、草の根無償資金協力プロジェクトを外交部担当の 貧困地域に使ったりもしました。国務委員を退任後、唐氏は日本の国会議員に会うたび、「日本は中国が指し示す方向 に歩み寄るべき」と訓示を垂れました。

短くて「45 分コース」、長いと「1 時間 30 分コース」 と言われ、日本側は「今日の“授業”は何分だろう」と愚痴をこぼすこともしばしばでした。

だんだんと、唐氏への面会を求めない議員も出てきたくらいでした。

唐 氏とは、個人的なエピソードがいくつかありますが、その一つを紹介しましょう。

加藤 紘一元官房長官は外務省のチャイナスクール出身で、私は中国課長時代をはじめ、とても可愛がってもらっていました。10 年秋、尖閣諸島沖での漁船衝突事件の後、加藤さん は訪中し、唐氏と会談しました。帰国直後の加藤さんから電話があり、議員事務所に来てほしい、と。

赴いて要件を聞くと、こう語りました。 8 2 4 0 7 0 9 鄧小平のオーラと江沢民の炭坑節.docx 「唐氏は、一般の尖閣事案の元凶は垂中国課長だと名 指しで批判していた。自分から は、悪いのは垂課長ではなく、民主党の対応だと擁護しておいた」 中国において、名指し批判は尋常ではないことです。

しかも副総理級だった幹部が一 介の課長を批判するのは異例中の異 例です。中国はこのような形で他国の人事に介入 するのか、と。

私は驚愕すると共に、「光栄」にすら感じました。

翌年 1 月に日中安保対話が予定されていたので、私は一計 を案じました。

日本側団長 の別所浩郎外務審議官の許しを得て、会合の後、唐氏に表敬することを中国側に提案し ました。

名指し批判された私が直接乗り込んでいったら、どういう顔をするか見たかったのです。唐氏は提案に応じ、中南海で我々を迎え、約 1 時間の「授業」を行いました。

会見後、唐氏は別所さんと別れの握手をした後、私には目を見開き「課長、頼みますよ！」と大きな声で日本語で語り、私の手を強く握って 何度も大きく振りました。私は終始、冷静に唐氏の振る舞いを見ていました。

## 機械のような胡錦濤

江沢民の後に最高指導者となった胡錦濤氏については、印象深い出来事が二つあります。

国家副主席時代の 98 年、訪中した日本の国会議員団と会談しました。

一等書記官の私は末席でメモ取りです。

会談が終わると、胡氏は馬蹄形の席に座る国会議員団に 歩み寄り、一人ひとりと握手を始めました。

これ自体が珍しいのですが、驚いたのはその後です。私は終了後も、会談のメモを続けていました。ようやく書き終えてパッと顔を上げると、目の前にはニコニコと立つ胡氏の姿。握手するためにメモを終えるのを待ってくれたのです。温かい心遣いを感じ入りました。

もう一つ印象に残っているのは、抜群の記憶力です。09 年 9 月にニューヨークで行われた鳩山由紀夫総理との首脳会談は、中国課長の私も同席しましたが、胡氏はトークン グポイント (発言要領) をほとんど見ることなく発言。翌日、新華社通信の記事を読むと、胡氏の発言とほぼ同じ。新華社は要人会談の際、事前に原稿を入手して紙面を準備します。

つまり、胡氏は機械のように原稿をすべて覚えていたのです。ただ、心優しさとずば抜けた記憶力を除けば、非常に平凡な政治家でした。胡氏の姓は中国語で「フー」と発音します。最高指導者に就任した直後、米国では「Who is Hu?」と言われていた。

つまり、陽気だった前任の江沢民とは異なり、地味で何者なのかよく分からない、と。胡氏が国家運営をできたのは、鄧小平が作った集団指導体制のおかげです。“普通の政治家”であっても統治できる体制が機能しました。06 年 10 月、訪中した安倍晋三総理は胡錦濤氏と首脳会談を行い、戦略的互惠関係の構築を訴えました。

の投資を 06 年 10 月、訪中した安倍晋三総理は胡錦濤氏と首脳会談を行い、戦略的互惠関係の構築を訴えました。実現できたのは、外交部常務副部長だった戴氏と谷内正太郎外務次官のパイプのおかげです。日中関係が悪い中でも、戴氏は何度も訪日して谷内さんと面会して信頼関係を築きました。谷内さんが安倍さんの信頼を得ていた一方、戴氏も胡氏から信頼されていた。

これが重要で、トップからの信頼がなければ思い切った外交交渉は出来ません。ただ、安倍さんの訪中直前に 2 人が会談した際には結論が出ず、戴氏は谷内氏の案を持って帰国し、胡錦濤氏の了解を得てトンボ返りで来日。訪中を実現させたのです。

胡錦濤政権時代、太子党 (党幹部の子弟) の中で、習氏と並ぶ次世代の指導者として期待されていたのが、重慶市党委員会書記 (中央政治局委員) の薄熙来氏でした。政治家としての能力は極めて高いものがありました。大連市長時代には、日本からの投資を促進して大連の経済を成長させただけでなく、緑化事業にも力を入れ、市民からの評価もとても高かった。

リーダーとして飛びぬけた能力を持っていて、国家副主席だった習氏ですら恐れる存在だったのは間違いありません。97年、橋本龍太郎総理の訪中に先立って、薄氏は「ぜひとも大連を訪問して欲しい」と日本側に陳情してきました。

当時の日程案では北京から瀋陽を訪問し、帰国することになっていました。大連には日中合弁の工業団地がありましたが、日本企業からの投資が鈍っており、総理が行くべきか議論になりました。当時の佐藤嘉恭駐中国大使が私と佐藤さんの秘書を連れて大連に行くことになりました。

薄氏は佐藤大使に総理の大連訪問の必要性について訴えてきました。結局、橋本総理が瀋陽から大連に半日ほど立ち寄ることにしたところ、薄氏は大喜びでした。総理訪中が無事に終わった後、薄氏は「お礼がしたい」と言って、佐藤大使と秘書と共に、北京の釣魚台国賓館に招いてくれたのです。迎えてくれたのは薄氏と妻の谷開来氏、息子の薄瓜瓜氏でした。

中国では、海外の要人と会う際に家族を伴うことは稀ですから、本当に驚きました。北京大学出身の弁護士だった谷氏が12年に英国人実業家を殺害して逮捕されたのはよく知られたことです。谷氏は直接会うと、とても背が高く、ハッとするほど綺麗な方でした。息子の瓜瓜氏はまだ中学生。その後、ハーバード大に留学しますが、薄氏の失脚により、中国には帰れなくなりました。

あの時は、まさかあんな失脚劇が起きるとは夢にも思いませんでした。

## **王毅の“聞く力” 私的外交官人生の中で、大きな重みをもった中国側政治家の一人は王毅外交部長です。**

元々は私の上司のカウンターパートで、若手時代から様々な場で顔を合わせしてきました。

王氏が国务院台湾事務弁公室主任を務めていた10年3月に訪日した際、福山哲郎外務副大臣と藪中三十二外務次官の2人が主催した晩餐会がありました。

王氏は部屋に入ってきた瞬間、「タルミ……、タルミさんって誰だ!?!」と尋ねてきた。みんなが怪訝な顔で、「彼です」と答えると、「ああ、キミだったのか」と。そして何事もなかったように食事が始まったのです。当時は一体何事かと思いましたが、今から思えば、06年に日中双方の首脳が合意した戦略的互惠関係の構想の提案者が私であることを耳にし、確認したかったのではないかと思います。コロナ禍の20年11月24日、王氏が日本を訪問しました。

この日は私にとって、外務本省で働く最後の一日であり、翌25日には大使として中国に赴任することになっていました。私は日本に到着したばかりの王氏に表敬するために、ホテルニューオータニを訪れました。また大使就任後、北京冬季五輪の1年前となる21年2月13日に、王氏とコソソリと会談しました。

北京郊外の張家口で行われる五輪プロモーションイベントへの出席依頼があり、車で片道3時間間くらいかかる場所なので断ったのですが、中国側が「王毅が来るから」と言う。「王毅氏と単独会見できるなら行く」と伝えると、OKが出ました。

私は常々、王氏は“歌舞伎役者”ではないかと思っています。駐日大使として日本にいる時は友好的に振舞う一方で、中国に戻り、必要があればいつでも“悪役”も見事に演じる。ただ、張家口での会談は通訳を付けず、30分間、中国語で率直に意見交換ができました。1カ月前には中国海警局の武器使用権限を明確化した海警法が成立したばかりで、日本では新疆ウイグル自治区や香港における人権問題への批判が高まっていました。

そうした厳しい声を率直に伝え、「日本の反中保守派とも意思疎通をするべきです」と言うと、丁寧に耳を傾けていた王氏は頷き、反論や言い訳は一切せず、横にいた部下に「(在京中国大使の)孔鉉佑にきちんとやらせるように」と指示を出していました。

習近平と共に去りぬ70歳の王氏はかつて「定年」と言われた68歳を超えた今も、党中央政治局委員にして党中央外事工作委員会弁公室主任兼外交部長です。

場面に応じて上手に役割を演じる王氏を、習近平氏も高く評価しているのでしょう。ただ、今後も彼の権限が続くとは限りません。

鄧小平は自らの死後も続く集団指導体制を作り上げましたが、それを壊したのが習氏です。従来、党中央の指導者層にも“中国式”のチェック・アンド・バランスが働いてきましたが、今やそれがありません。

習氏一人に権力が集中し、かつて同格であった政治局常務委員ですら物申すことができません。ただ、習氏も今や71歳。今後、何が起こるか分かりません。

習氏が作り上げた統治システムは、鄧小平のそれとは違い、「習近平と共に去りぬ」となるでしょう。日本は今から鄧小平のオーラと江沢民の炭坑節・ポスト習近平時代をも見据えて、中国と交流をしていくことが重要だと思います。(以下次号)

7月29日

昨日、大相撲名古屋場所千秋楽 そして、スポーツの祭典【パリ オリンピック開幕】  
目と耳さえしっかりしていたら人生の愉しみは尽きません！



オリンピックで、日本が92年振りでメダル獲得したとのニュースに接して

**92年前に馬術で金メダルを獲得した「バロン西とウラヌス号」のことを思い出した。**

また、バロン西の父は、薩摩藩士・西徳二郎である。

華麗なバロン西の物語です。

右の写真は昨日、パリオリンピックにて92年振りに銅メダルを獲得した『初老ジャパン』のみなさん！



バロン西(西竹一)とウラヌス号物語 バロン西は、1932年(昭和7年)、ロサンゼルス・オリンピック大会でウラヌス号に騎乗し、馬術大障害飛越競技で金メダリストを獲得した。

このオリンピック大会参加に際し、参加費用はどこからも支給されない。

バロン西は、馬の運搬費用も含めて、馬術チーム全体の費用すべてを支出した。



父の薩摩藩士・西徳二郎男爵(鹿児島城下樋之口町に生まれ、外務大臣などを歴任)は、駐清公使時代の明治 33 年に義和団の乱処理に当たり、清の西太后から中国茶の専売権を与えられ、巨万の富を築いた。

米国映画「北京の五十五日」に登場する西大使は西徳二郎公使。明治 34 年、西公使の後任全権公使は小村寿太郎 ウラヌス号(1919 年- (1945 年 3 月 28 日)は、1930 年 4 月、西がイタリアに滞在中、馬の持ち主が、乗りこなせず売りがついていたことを

伝え聞いて、それなら自分が乗ってみようと 6,500 伊リラで購入した。写真で見て分かるように、体高(肩までの高さ)が 181cm もある大きな馬体で、性格は荒く西以外は誰も乗りこなせなかったという。

ヨーロッパの大会で入賞し、ロサンゼルス・オリンピックでは金メダルを獲得した。

ベルリン(・オリンピック(1936 年)にも参加し、映画「民族の祭典」内に収められているという。

00 バロン西とウラヌス号.docx 1 戦後、バロン西が硫黄島で最期を遂げるまで身につけていたウラヌスのたてがみがアメリカで発見され、北海道十勝本別町歴史民俗資料館に収められるという。

西竹一は、学習院幼稚園・初等科へ、明治 45 年(1912)に徳二郎が死去。その名跡を継承した竹一は当主として、男爵(バロン)を名乗る。

湯長谷藩(福島)内藤政民の上屋敷跡地、麻布笄町の自宅とその周辺 1 万坪という広大な屋敷地と 50 軒の貸家、熱海と鎌倉の別荘、莫大な各種株券など巨大な遺産を相続した。

大正 4 年(1915)4 月、外交官であった父の遺志を継ぎ、府立一中(日比谷高校)に入学する。同期には、小林秀雄(評論家)、迫水久常(参議員議員)らがいた。

当主の竹一は、父親の後を継ぐべく外交官を目指していた。ところが、学習院時代の乃木希典院長は、屢々「華族の子弟は、なるべく軍人を志せ」と教示していた。乃木將軍は、華美に陥り斜陽弱体化を始めていた華族社会の子弟に、精神的な覚醒を促していたのであろう。

大正 6 年(1917)竹一は、府立一中在籍中に広島陸軍地方幼年学校へ転籍すると、軍人の道をまっしぐらに進むことになる。

### さて、ここからは華麗なバロン西の物語

西少年は鷹揚で天真爛漫、サッパリして明るい性格であった。

彼は莫大な資産を趣味に注ぎこむ。14 歳でカメラに凝り、自宅に暗室を持ち、空気銃を収集する。

陸軍軍人になっても髪は七三に分け、ハーレーダビッドソン、モーターボート、自動車などを所有した。

当時の日本では考えられない高級車を購入して、スピードとスリルに熱中するモダンボーイの生活を満喫していた。少尉候補生の頃、自動車はアメリカ・リバティー社製、クライスラー、リンカーンのオープンカーで東京の街を我物顔に乗り回していた。

まだスピード違反など道交法のない時代だが、たびたび、警告を受けていた麻布警察署に職員宿舍一棟を贈呈した逸話で知られる。

大正 13 年(1924)10 月、西男爵は 22 歳で陸軍騎兵少尉に任官した。

同年12月27日、海軍大将川村伯爵家の令嬢武子と結婚した。長女淑子、長男泰徳、次女広子の一男二女をもうける。

西家の本邸は麻布笄町にあり、千葉の習志野騎兵連隊から戻ると麻布の邸内に洋風でモダンな邸宅を建て新居とした。

空いた本邸は、赴任先の英国から帰国した外務省の吉田茂大使が借家としていた。

....この後は、PDF(パロン西)があります。一応添付しますが、パソコンに送信する場合、受け取る側(そちら)のパソコンの機器の性能、あるいは使っているメールアプリケーションの容量等により、送ったメールが受け側の容量をオーバーして届かない場合があります。こちらで判りますのでパロン西を削除してオンライン日記のみを再送します。編集 大石



### 【編集後記】

PDF版をこのMicrosoft wordに変換するとその場ではいいのですが1日置いて開くと変換した部分が消去してしまうことに気がつきました。従いまして今日この後、PDF版に変換して明日皆様に送らせて戴きます。

実は、有料のソフト(PDF→WORD)をインストールすれば簡単なのですがつついこんなのにケチってしまいます。

世の中にはこんなタイプは結構います。.....ということで、7月の編集後記を書いています。

しかし本当に80を過ぎてから周囲の(今までのごく普通だった)環境が日に日に崩れていくのを実感します。

夕べ突然あった友人(鹿児島に帰って来て美容を始めて40年の間、毎日のように店(中町)の前で商売をしていた吉川タンス店(店の前は二見屋という結納の店その隣り)の店主。一日に何回かタンス店の奥でおしゃべりお茶のみしていた吉川さんが、元気で夕食を食べすぎて夜中に食べた食物が逆流してそれで窒息して亡くなった...お通夜の席で奥様の話でした。奥様曰く「本人は自分が死んだこと知らないかも」...これから先のこと、未来のこと...あまり考えないようにしませんか??クーラーの効いた寝室でベッドに気持ちよく寝返りを打ちながら眠れたらそれでよし..

今日はこの辺で.....

大石ケイジ